



平成17年10月12日

各位

会社名 鹿島建設株式会社
代表者 代表取締役社長 中村 満義
(コード番号 1812 東証・大証・名証各第一部)
問合せ先 財務本部主計部長 高野 博信
(TEL. 03-3404-3311 (大代表))

平成18年3月期 中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年5月18日の決算発表時に公表した平成18年3月期の中間連結業績予想及び中間単体業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成18年3月期 中間連結業績予想数値の修正 (平成17年4月1日～平成17年9月30日)
(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成17年5月18日)	770,000	15,000	7,000
今回修正予想(B)	770,000	17,000	3,000
増減額(B-A)	-	2,000	4,000
増減率(%)	-%	13.3%	57.1%
前中間期実績(平成16年9月期)	732,664	18,642	2,612

2. 平成18年3月期 中間単体業績予想数値の修正 (平成17年4月1日～平成17年9月30日)
(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成17年5月18日)	590,000	15,000	7,000
今回修正予想(B)	590,000	19,500	2,500
増減額(B-A)	-	4,500	4,500
増減率(%)	-%	30.0%	64.3%
前中間期実績(平成16年9月期)	578,005	24,883	1,931

3. 修正の理由

(1) 関係会社株式評価損等の計上(単体)

当社の欧州統括子会社カジマ ヨーロッパ ビー ヴィ傘下の英国建設子会社における業績悪化に伴い、当社において、関係会社株式評価損等約145億円を特別損失に計上いたします。

なお、英国における建設事業につきましては、今後、事業のあり方を含め、抜本的な見直しを進めてまいります。

(2) 事業再編損失の計上(連結)

英国建設子会社における業績悪化に伴い、建設事業の見直しを図った結果、連結会計上、事業再編損失として約55億円を特別損失に計上いたします。

(3) 経常利益の増加について

親会社単体の経常利益は、建設事業の総利益が増加すること等の理由から、予想数値に比べて45億円増加し195億円となる見込みです。

連結経常利益については、カジマ ヨーロッパ ビー ヴィの業績悪化を親会社及びその他の海外子会社の業績改善により吸収し、予想数値に比べて20億円増加の170億円となる見込みです。

(4) 中間純利益の減少について

中間純利益については、連結は事業再編損失の計上に伴い、予想数値に比べて40億円悪化の30億円の純利益となり、単体は経常利益が増加するものの、カジマ ヨーロッパ ビー ヴィ株式評価損等の計上により、25億円の純利益となる見込みです。

4. 平成18年3月期の連結及び単体の通期業績予想数値につきましては、本年11月17日の中間決算発表時にお知らせいたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上

<ご参考> 平成18年3月期 中間単体受注高実績(速報値)(平成17年4月1日~平成17年9月30日)

(単位:億円)

	建設事業			開発事業等	合計
	土木	建築	計		
前回発表予想(A) (平成17年5月18日)	1,250	3,700	4,950	400	5,350
受注高実績(B)	1,631	3,715	5,347	551	5,898
増減額(B-A)	381	15	397	151	548
増減率(%)	30.5%	0.4%	8.0%	37.8%	10.3%
前中間期実績(平成16年9月期)	1,117	4,367	5,484	1,039	6,524